間 ح き 17

侵すこと 権の世紀といわれる21世紀を迎え、 がが できな です 当 はや16年が経過しまし の権 剃

たが、すべての人の人権は尊重されているのでしょうか?

今回は、日本固有の問題である「同和」問題について考えて

「同和」 「同和」問題とは同和」問題って、 日本固 ?

いきたいと思います。

部落差別によって様々に引き起一同和」問題とは、日本固有の 一問題とは、日々『一のですか 有

ところを選ぶことができないにもかかわらず、部落出身というだけでさまざまな差別を受け、
基本的人権を侵害されている現
関題であり、いわゆる部落問題
のことです。
のことの

題は、 れる社会問題なのであり、健常「障害」差別によって引き起こさ 「障害」者の問題ではなく

つまり、「同和」問者が引き起こします。

ません。 の問題で、 の課題とならなければなりであり、したがって部落が人によって引き起こされる

おけば差別は なく

てもいいのではないか」「知らないままにしておけば、時とともに自然になくなるのではないか。」いわがひろがるのではないか。」という考え方です。この考え方の問題点は、部落問題について正しい認識がなく、誤った事実や偏見を知らず知らずに身につけ、信じ込んでいることを自覚していないことが多いようです。 「知らな 人にまで教え なく

なぜなら、総務庁による全国 意識調査(1985年)にある が身近な人間関係を通じて知っ の存在を知っており、半数以上 の存在を知っており、半数以上 の存で知らされている現実がある るからです。

社会問題です。

分の意思で生まれる

問題は、

部落

を覚まし、 。そして結婚など身近にのまま起こされ」ている したとき、

大や再生産されていくことになつまでも語り継がれ、差別の拡に対する偏見や誤った認識がいない」とする考え方では、部落 別行為となってしまうのです。 うとしたり、 このような「寝た子を起こさ 部落との関係を絶と 部落を排除する差

はなりません。和」教育を展開していかなくて別をなくすために積極的に「同教育は関係ないのではなく、差差別しないから私には「同和」 は、部落問題を知らない人が正のです。「寝た子を起こす」ことく知ることが必要になってくるるのです。 を改めることなのです。その間違いに気づき、その認識を持たされている人が、 しく認識することであり、 、人が正

協議会 21 世紀 部熊人権 粋県の 同世 和紀 教育推 進あ

と出会い、すでに「差別的なの気ない言葉によって部落問つまり、多くの人が身近な人

山都町の人口 [平成 28 年 3 月 31 日現在]

啓蟄や地下百階といふ絵本恙なく十粒の豆や追儺の夜日めくりにそっと一礼お元日

中菊池

暢子

田中

か

年賀状書きつつ初心貫けぬ侘びの言葉を小さく添うる

通润句会

盃を交し新年寿ぎぬ

おだやかな新年迎え身もからく一歩踏み出す九十の春

トボール優勝の賞品手に翳し妻の笑顔ははじ

冷ややかに年今がねと言う医者に頷きながら痛みこらえる娘が入れしお茶一杯の温もりが妻亡き心のすきま埋める

梅の香に心素直になりし時今日の命を大事に想う

梅田 渡邊 米田

市 民 定

7,709从 (-33)

8,298人 (-47)

16.007人(-80) 6,639戸(-7)

※()は前月比

ちゅうい-

して

ごとう あい (蘇陽小学校) おいて こうつうあんぜん

ただしく

あるいて

※最高齢は107歳〔女性1人〕

※平成28年3月の出生者数 3人

※平成 28 年 3 月の死亡者数 18 人

前号の訂正とお詫び

3月9日発行第132号の広報やまとにおい

て誤りがありました。
関係各位には大変なご迷惑をおかけしまし た。お詫びして訂正いたします。 ○まちの話題 「第61回愛林駅伝大会」

(誤)12行目が空白になっていました。 (正)「の方の声援により盛り上がりを見せ ました。」

広報やまと4月号をもって、12回の発行が無事に 終了しました。

この1年間でたくさんの地域に行かせていただき

引き続き平成28年度も広報担当をさせていただき ますので、今後ともよろしくお願いいたします。(椎木)

何時よりか素通りバレ春雪にちゃんと足跡ち

ン タ イ 者

高 兼 高田 瀬田

ンデ

馬見原醉山会

ばき落ちて華や

ひと

ところ

ゆ

壽

满

瑞

氣

和光教室書道部の大塚憲一さん(米生)

作

やまなみの会「山脈」

猪除けネットを張り終りを心に決める年始め

(営)9:30~17:30 定休日:每週水曜日、年末年始 〒861-3513 熊本県上益城郡山都町下市158

出展者:星田那智子、吉村美弥子、星田岳資

美里町在住の三人、星田那智子、吉村美弥子、星田岳資 による油彩、水彩約20点。

『三人展』 間: 平成28年4月1日(金) ~4月30日(土)午前まで

23 広報やまと 2016.4月号